



関市発掘調査展2020



市制70周年記念 関市発掘調査展2020



これは何？
関市のかたちに
見えるね!!
答えは本文中にあるよ!!



ひろまるくん

ひろまるくんって…

古代の武義郡で働く役人をイメージしたキャラクターです。関市池尻にある古代の祭祀遺跡である「弥勒寺西遺跡」から『廣万呂』と墨で書かれた土器が発見されたことから名付けられました。

古代の役所である「弥勒寺東遺跡」に隣接する「弥勒寺西遺跡」は、この役所に関連した遺跡とみられます。役所では、ムゲツ氏という有力一族が郡司（役人）をしていたと考えられており、『廣万呂』もムゲツ氏と関わりがある人物がみられません。

ごあいさつ

関市長 尾関健治

関市制七〇周年記念「関市発掘調査展二〇二〇」の開催にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

昭和二五年二月五日に関市が誕生して、令和二年は市制七〇周年・合併三五周年にあたり、大きな節目の年を迎えました。関市は岐阜県美濃地方のほぼ中央に位置しており、この豊かな自然に恵まれた土地には、特色ある埋蔵文化財が多くあります。

代表的な例としては、古代豪族ムゲツ氏の氏寺である弥勒寺跡や武義郡衙に比定される弥勒寺官衙遺跡（弥勒寺東遺跡）、ムゲツ氏の墓所とされる池尻大塚古墳があります。これらは弥勒寺官衙遺跡群として国の史跡に指定され、現在、歴史公園として整備しております。

塚原遺跡・塚原古墳群は縄文時代早・中期の集落と古墳時代後期の古墳群で、発掘調査の終了後、平成四年六月に塚原遺跡公園として整備され、毎年、市内外の小学校が見学に訪れるなど、歴史学習の場として利用・活用されています。

重竹遺跡は、縄文時代から江戸時代に至る複合遺跡で、現在までに二〇〇以上の発掘調査が行われ、関市を代表する集落跡として知られています。

合併以来、旧関市域以外の発掘調査も徐々に増え、地域の様相も少しずつ判明してきました。その他にも開発に伴う記録保存調査を積極的に実施しています。

本展示会では、今までに行われた発掘調査について振り返り、代表的な遺跡と出土遺物を旧石器時代から江戸時代までの時代ごとに紹介します。関市の発掘調査の成果を概観できるように展示していますので、ぜひ発掘調査の成果を間近にご覧いただき、関市の歴史や地域の多様性を感じ取っていただきたいと思います。

本展示会が多くくの市民の皆様にご覧され、埋蔵文化財に対する認識を深めていただくとともに、当地域の歴史研究の一助となれば幸いです。最後になりましたが、発掘調査でお世話になりました関係者の方々や市民の皆様にご厚く御礼を申し上げます。今後とも埋蔵文化財の保護にご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。

令和二年一〇月

目次

表紙写真(上) 弥勒寺官衙遺跡群

旧石器時代

日本人の生活の始まり

時代の概要	1
関市の旧石器時代	
旧石器時代の遺跡分布図	
赤土坂遺跡(中三丁目)	2
松原遺跡(小屋名)	
向中野遺跡(下有知)	
市内最古の石器!?	

縄文時代

土器の製作と定住生活

時代の概要	3
関市の縄文時代	
縄文時代の遺跡分布図	
塚原遺跡(千疋)	4
『縄文』のない縄文土器	
神野遺跡(神野)	5
岩井戸岩陰遺跡(武芸川町谷口小知野)	
松原遺跡(小屋名)	
重竹遺跡(下有知周辺)	
『埋甕』は棺!?	
湯屋遺跡(板取湯屋)	6
底津遺跡(洞戸栗原)	
打製石器から磨製石器へ	

弥生時代

「ムラ」から「クニ」へ

時代の概要	7
関市の弥生時代	
弥生時代の遺跡分布図	
大杉遺跡(大杉・西田原)	8
南青柳遺跡(のぞみヶ丘)	
三王地遺跡(武芸川町跡部)	
重竹遺跡(下有知周辺)	
弥生時代は『溝』に注目	

古墳時代

権力の象徴と統一国家への道のり

時代の概要	9
関市の古墳時代	
古墳時代の遺跡分布図	
陽徳寺裏山古墳群(千疋)	10
古墳に埋められた生活や文化	
片山西塚古墳(片山遺跡)(小瀬)	11
小瀬方墳(山王通西)	
塚原古墳群(千疋)	
杉ヶ洞古墳群(下有知)	12
池尻大塚古墳(池尻)	
落洞三三号古墳(武芸川町小知野)	
南ヶ洞古墳(武芸川町跡部)	
砂行遺跡・砂行二号古墳(のぞみヶ丘)	13
末洞遺跡(尾太町)	
櫻ノ木洞遺跡(のぞみヶ丘)	
山地斜面の二大集落	
松原遺跡(小屋名)	14
重竹遺跡(下有知周辺)	
南貸上遺跡(南貸上)	
大杉遺跡(大杉・西田原)	
『土師器』と『須恵器』	

古代

(奈良時代・平安時代) 天皇中心の国づくり

時代の概要	15
関市の古代	
古代の遺跡分布図	
重竹遺跡(下有知周辺)	16
吉田沖遺跡(黒屋周辺)	
大杉遺跡・大杉廃寺・大杉西遺跡	
唐鋤遺跡(東田原)	
様々な埋葬方法	
弥勒寺官衙遺跡群	17
弥勒寺跡【寺院】	
弥勒寺西遺跡【祭祀】	

中世

(鎌倉時代・室町時代) 武士の台頭と今に伝わる室町文化

時代の概要	21
関市中世	
中世の遺跡分布図	
上り瀬遺跡(下之保)	22
山王遺跡(下有知)	
中世の台所事情 囲炉裏の登場	
重竹遺跡(下有知)	23
重竹B地点出土の常滑焼きの大甕	
長谷寺町遺跡(長谷寺町)	24
塔の山遺跡(武芸川町谷口)	
津井谷北遺跡(板取田口)	
大屋敷遺跡(志津野)	
古町遺跡(平和通四丁目)	

近世

(江戸時代) 江戸幕府と泰平の世

時代の概要	25
関市の江戸時代	
近世の遺跡分布図	
十六所古窯跡(十六所)	26
重竹遺跡 寺下地区(下有知)	
開墾塚とは?	
参考文献	27
用語解説	29